通、上通に回遊できるような仕掛けづくりを考えなければいけないと思います。

広場に限らず、政界や経済界とスクラムを組んで、どういう使い方がいいかを話し合って、試してみて、そして3年半後に良いスタートダッシュが切れるようにしたいです。そして、県外から見ても「これは素晴らしい」と認知してもらえるようなエリアを目指したいです。

市電の延伸を検討

松岡　熊本駅周辺でも再開発が予定されています。

大西　バスターミナルは桜町に出来ますが、熊本駅前にはサブターミナルができることになります。JR九州では駅ビルも含めた再開発をされるということで、周辺開発も含めて7ヘクタールほどの開発になると聞いています。これにも大きく期待したいと思います。そのような動きがありますので、街路も含めた駅前広場周辺についてはもう一度、熊本の玄関口にふさわしい姿を考えたいと思っています。再開発の一つとして取り組んで、できるだけ機能的で開放的な駅前の空間にしたいです。

大事なことは駅周辺と中心市街地が分断されないことです。駅前に商業施設ができることで、中心部の空洞化を懸念されている人もいます。それを払しょくするためには、駅周辺と中心商店街の動線をきちんと確保することが大事だと思います。市電の利活用をはじめ、ノンストップで街中に通じるバス路線など、いろいろな形で人が流れる仕組みを考えたいです。

熊本市全体で見ると、鉄軌道を中心に熊本の公共交通のあり方をつくっていこうと考え、市電延伸の検討に着手しています。健軍電停から東部方面、田崎橋電停から西部方面、それと南熊本駅方面への延伸です。高齢者の方々などが使いやすいバスとの結節なども考え、交通全体のネットワークを作っていくことが重要だと思います。

それと、大きな課題は道路渋滞です。都市規模の割にはひどい状況です。部分的には各地で道路が整備されていますが、渋滞を全体として解消するためには資金も時間もかかります。公共交通へのシフトが2割ほど進めば、かなり渋滞が緩和されると言われていますので、使いやすい公共交通システムをつくる必要があります。それと同時に、2環状11放射の道路整備を急いでやりたいと思います。熊本市では熊本西環状線を整備していますが、これは来年度（16年度）、暫定2車線での供用開始を目指しています。

桜町、花畑両地区で挟まれた市道はシンボルプロムナードとして整備される

福岡との連携で双方が発展する可能性 ―― 田川会頭

松岡　熊本商工会議所と熊本経済同友会は熊本都市圏将来ビジョンを策定されましたが、その取り組みについて田川会頭お願いします。

田川　都市圏将来ビジョンをつくった理由から申し上げますと、熊本都市圏は県経済に占めるウエイトが非常に大きく、多くの人々の生活や企業活動の拠点があります。その動向が県や九州の将来と密接に関わってくる。そういう中で、経済界としてどう対応するかということで、熊本商工会議所と熊本経済同友会で合同のプロジェクトチームをつくり、1年半くらいかけて検討し、14年2月に熊本都市圏将来ビジョンを発表しました。経済界として今後10年に取り組むべき課題などを取りまとめたものです。それぞれの団体で年次の事業計画の中に盛り込んで、それを最重点課題として取り組んでいるところです。

熊本商工会議所と熊本経済同友会は定期的に正副会頭と正副代表幹事が集まり、熊本の課題について話し合いをしています。ですから、少なくとも熊本の現状や課題については認識を一致しています。そういうかたちで都市圏将来ビジョンの進捗について意見を交換しながら進めているところです。

取り組みとしては、「民間の創意工夫を主力としてビジネスを強化しての交流人口の増大やアジア等の需要の取り込み」、「民間のノウハウを活用した『選択と集中』でインフラ整備の促進」、「労働力人口減少の抑制」、「グローバル化に対応する人材の育成」などです。これらの課題に対して数値目標も掲げながら取り組んでいます。

松岡　具体的にはどういうことですか。

田川　交流人口については、「延べ宿泊者数を年間663万人から年間1000万人に増大させる」という目標です。インフラ整備については、「九州の東西軸の道路整備を早急に実現させる」です。これは中九州横断道路や九州横断自動車道延岡線などですので、知事がおっしゃったように、熊本が広域防災拠点に選ばれたことで弾みがつくと思います。私は今、国交省の社会資本整備審議会の委員を務めていますが、防災において社会資本をどう整備するかは大きなテーマです。高速道路は最も大事なインフラですので、熊本の道路整備が一気に進む可能性があると思います。これからのインフラ整備は、50年経過した既存インフラを補修しながら、新たにつくっていかなければならない。財源が厳しい中で、選択と集中が求められています。防災については、徹底的に整備すると打ち出される方針ですので、九州東西軸の整備は期待できると思います。そのほか、「日本一水が豊かで、人に優しい街を創る」、「女性の労働力率を全国5位以内に引き上げる（現在15位）」、「外国人インターンシップを1,000人受け入れる」を目標に掲げて取り組んでいます。

同時に会議所としては、県内だけにとどまらず、九州、アジアに向けて発想していこうと呼びかけています。一番大事なのが福岡と熊本の経済界の連携・融合です。30数分で移動できる新幹線というツールがあるわけですから、これを皆さん方には有効に使ってほしい。身近な例で言えば、福岡での1次会に出て、熊本の2次会に出ることもできます。経済界はどんどん融合していくと思います。それは熊本の経済界にとって、極めていいことだと思います。九州新幹線が開業するときに、ストロー現象を心配する声がありまし